

本資料は、2017年3月30日の「廃炉・汚染水対策チーム会合／事務局会議(第40回)」で公表している資料です。

資料1-3

# Green zone [一般服エリア]の拡大について

2017年3月30日

**TEPCO**

---

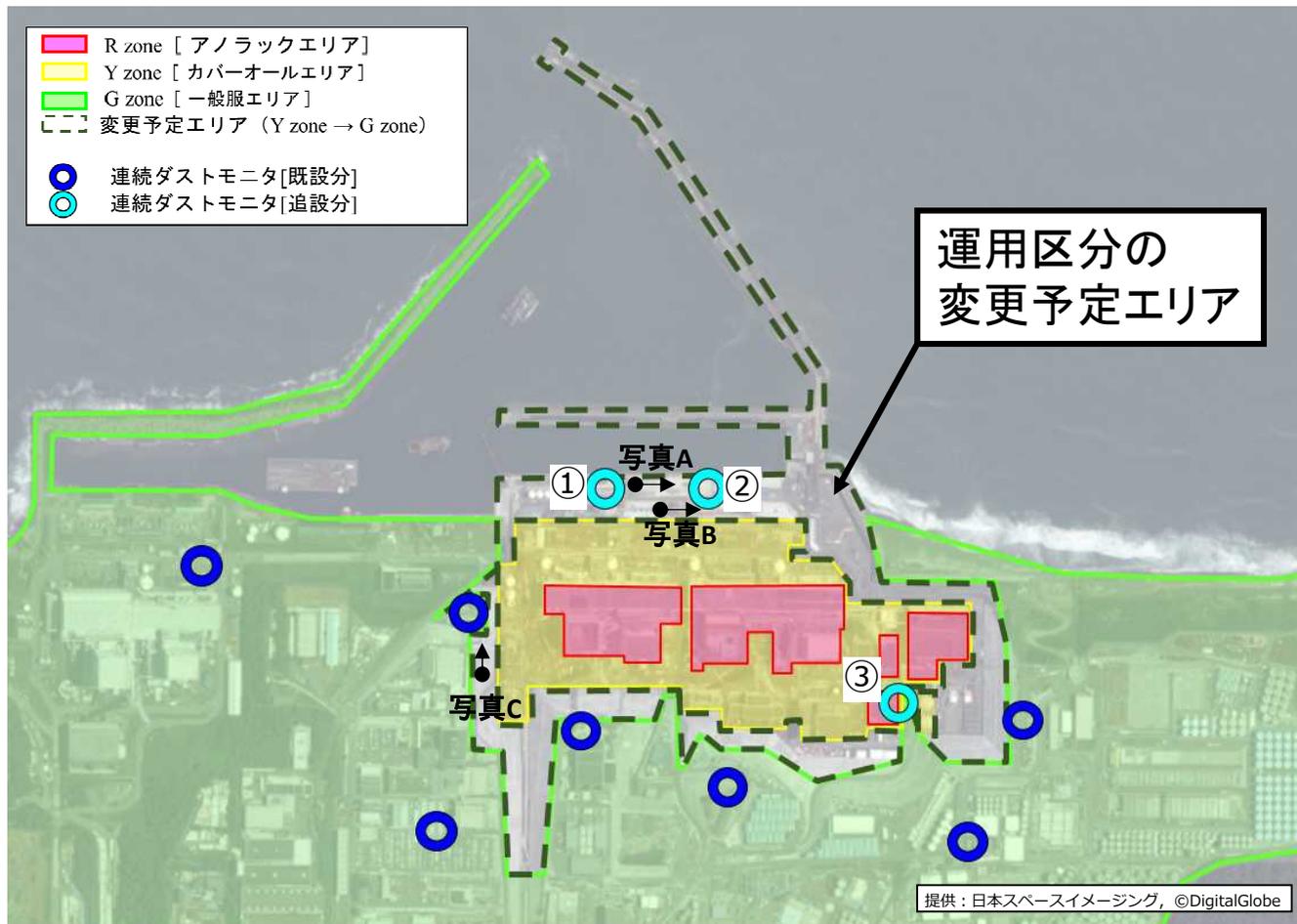
東京電力ホールディングス株式会社

作業時の負荷軽減により安全性と作業性の向上を図るため、ガレキ撤去・フェーシング等の環境改善が進んだ『4 m盤』及び『1～4号機法面』について、Yellow zone から Green zoneに区分を変更し、一般作業服又は構内専用服と使い捨て式防じんマスクで作業できる範囲を2017年3月30日から拡大する。

なお、運用区分の変更にあたっては、空气中放射性物質濃度がマスクの着用基準を下回っていることを確認するとともに、ダスト上昇を早期に検知するための連続ダストモニタを追加設置した。また、作業員がYellow zoneとGreen zoneの境界を識別できるよう、標識等の現場掲示を行う。

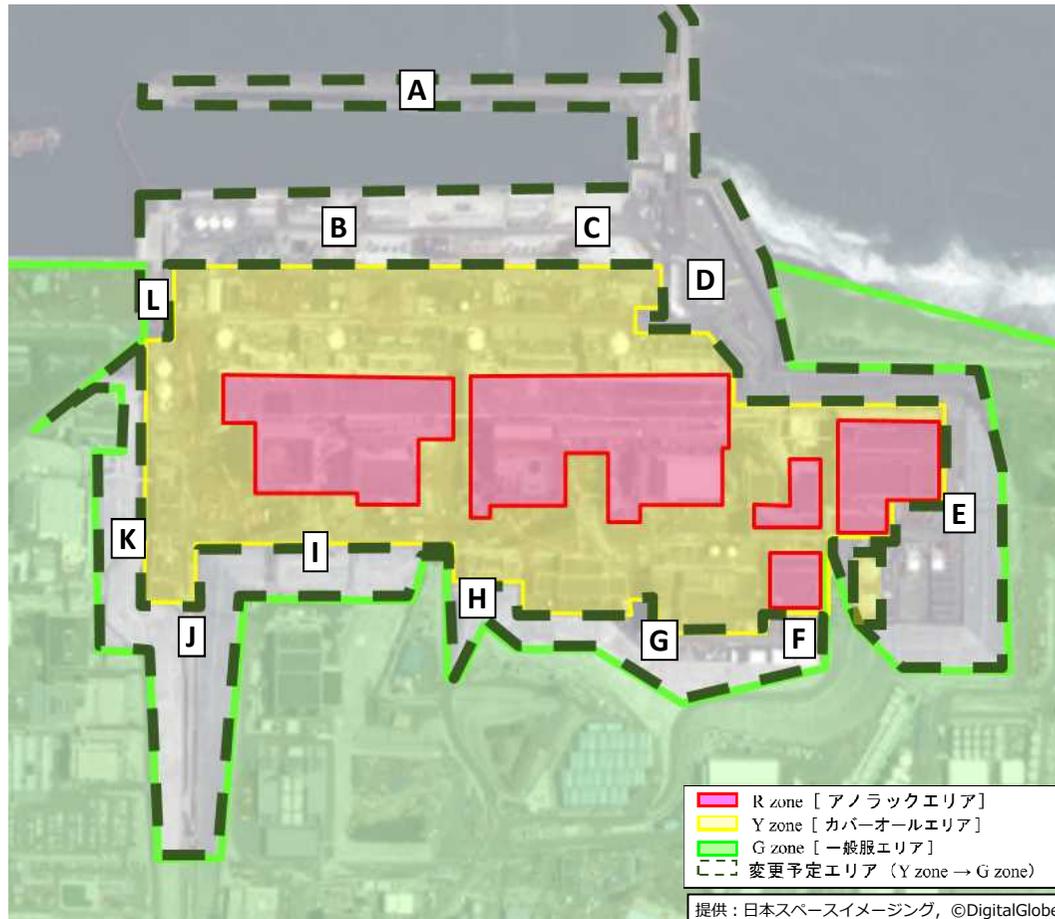
## 2. 運用区分の変更予定エリア及び連続ダストモニタ追設箇所

- 運用区分の変更予定エリア（図中 ）：『4 m盤』及び『1～4号機法面』
- 連続ダストモニタの追設箇所（図中 ）：
  - ① 1号機海側（4 m盤）
  - ② 3号機海側（4 m盤）
  - ③ HTI南側（10 m盤）



### 3. 空气中放射性物質濃度の確認結果（1/2：手サンプリング測定）

運用区分の変更予定エリアについて、手サンプリングによる空气中放射性物質濃度の測定を行い、マスク着用基準未満（ $2 \times 10^{-4} [\text{Bq}/\text{cm}^3]$ ）であることを確認した。

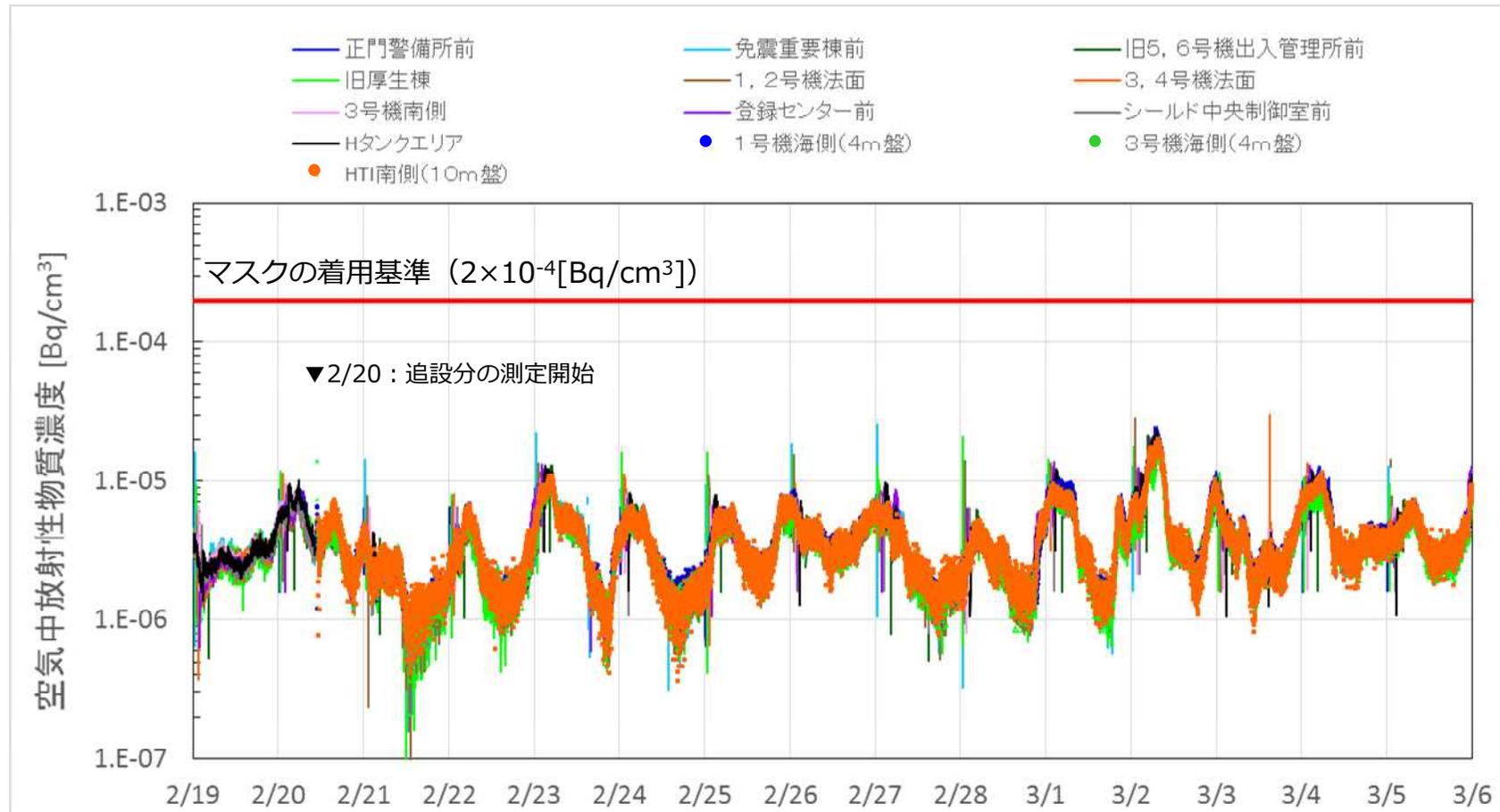


測定点	空气中放射性物質濃度[Bq/cm <sup>3</sup> ]		
	Cs-134	Cs-137	合計
A	$<9.9 \times 10^{-7}$	$<9.0 \times 10^{-7}$	検出限界未満
B	$<8.1 \times 10^{-7}$	$<7.5 \times 10^{-7}$	検出限界未満
C	$<8.6 \times 10^{-7}$	$<8.0 \times 10^{-7}$	検出限界未満
D	$<9.5 \times 10^{-7}$	$<8.0 \times 10^{-7}$	検出限界未満
E	$<1.0 \times 10^{-6}$	$<9.8 \times 10^{-7}$	検出限界未満
F	$<7.9 \times 10^{-7}$	$<8.4 \times 10^{-7}$	検出限界未満
G	$<1.0 \times 10^{-6}$	$<9.7 \times 10^{-7}$	検出限界未満
H	$<1.1 \times 10^{-6}$	$<9.6 \times 10^{-7}$	検出限界未満
I	$<1.0 \times 10^{-6}$	$<8.6 \times 10^{-7}$	検出限界未満
J	$<7.0 \times 10^{-7}$	$<6.8 \times 10^{-7}$	検出限界未満
K	$<8.2 \times 10^{-7}$	$<7.1 \times 10^{-7}$	検出限界未満
L	$<7.7 \times 10^{-7}$	$<8.2 \times 10^{-7}$	検出限界未満

※マスク着用基準： $2 \times 10^{-4} [\text{Bq}/\text{cm}^3]$

### 3. 空气中放射性物質濃度の確認結果（2/2：連続ダストモニタ）

運用区分の変更予定エリアにおいて、ダスト上昇した際の早期検知を目的として追設した連続ダストモニタの指示値についても、マスク着用基準未満（ $2 \times 10^{-4} [\text{Bq}/\text{cm}^3]$ ）であることを確認。



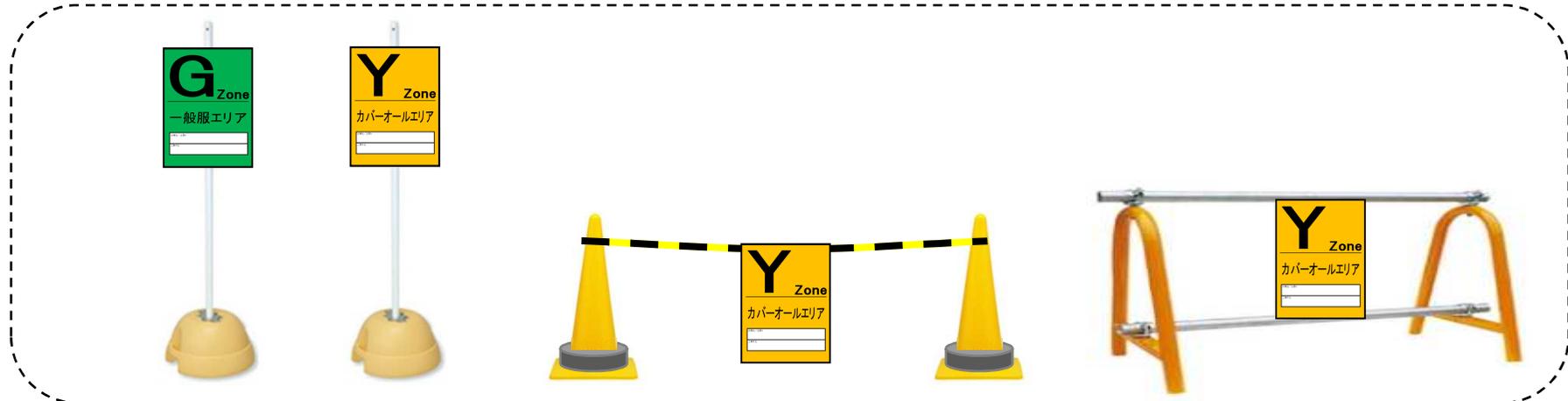
連続ダストモニタの指示値は、天然核種の影響を受け、概ね $10^{-6} \sim 10^{-5} [\text{Bq}/\text{cm}^3]$ で日変動する。

## 4. 境界の識別

Yellow zone や Green zone 等の境界には、作業員が容易にエリアを識別できるように、以下の標識を掲示する。



(現場の掲示イメージ)



# 【参考】 構内全域の運用区分マップ

